

チョーライ病院向け病院運営・ 管理能力向上支援プロジェクト

2017年9月

1. カウンターパート訪日研修(医療安全)の実施

医療安全・看護管理 森山 潤

2017年7月23日から8月5日にかけて、医療の質・安全の向上を目的に、カウンターパート訪日研修が実施されました。

今回私も、チョーライ病院の6名のカウンターパート研修員とともに、国立国際医療研究センター(NGCM)および済生会熊本病院における研修に参加してきました。

研修では、病院における医療安全管理の実際(インシデントレポートシステム、医療安全パトロール、根本原因分析など)やチーム医療、クリニカルパスについて学び、チョーライ病院における課題や解決策について、講師たちと熱心な意見交換が行われました。



国立国際医療研究センター(NGCM)
国土理事長表敬



国立国際医療研究センター病院における研修

研修修了時には、参加したメンバーから決意とともに以下のアクションプランが報告されました。

- ①インシデントレポート数増加に向けたフォーマットおよび報告形式(システム化、オンライン)の改定。
- ②患者に最善の治療を行うことを目的とした多職種連携チームの立ち上げ(肺がん、呼吸器ケアを対象)。
- ③患者に標準的な治療・ケアを提供することを目的としたクリニカルパスの導入。

短い期間ではありましたが、作成されたアクションプランはとても素晴らしく、彼らの今後の成果が期待されます。専門家チームとしても、アクションプランが実現されるよう、しっかりとサポートしていきたいと考えています。

～ クリニカルパス とは ～

クリニカルパス(Clinical Pathway)の原型は、もともと工業分野において、生産性向上と品質管理等を行うために開発されたものです。医療分野では、病気に応じて入院から退院までのプロセスを可視化した表を作り、治療やケアのプロセスを管理します。クリニカルパスを使用することで、医療者は治療やケアの見落としやムダがなく、患者に標準化した医療を提供することができます。

クリニカルパスは、在院期間が短く、同様の治療過程をたどる疾患に対して使われることが多く、今回訪問した済生会熊本病院では、内視鏡治療やカテーテル治療、脳梗塞などで使われていました。

医師・看護師・薬剤師・技師・リハビリなどの多職種が連携して作成するため、チーム医療の一つのモデルとしても期待されています。



クリニカルパス作成のワークショップ
(8月1日、済生会熊本病院にて)

2. 高木美智代厚生労働副大臣がチョーライ病院を訪問

8月23日、APEC保健・経済ハイレベル会合のためホーチミンに来訪中の高木美智代厚生労働副大臣一行がチョーライ病院を訪問されました。

はじめに、チョーライ病院 Son 院長より、歓迎の挨拶があり、次に Phuong 国際部長より、これまでの日本とチョーライ病院との協力の歴史についての説明が行われ、長期間にわたる日本からの協力についての感謝の言葉が述べられました。

高木副大臣からは、チョーライ病院がこれまでベトナムの医療に対して長く貢献してきたことへの敬意が表されました。また、現場で活動するJICAの専門家やボランティアに対して、ねぎらいと感謝の言葉をいただきました。

副大臣一行は、その後病院内の救急センターやリハビリテーション科等を視察され、意見交換を行いました。



Son 院長から絵を贈呈される高木副大臣(中央右)

3. 橋本理生短期専門家(臨床・呼吸器内科)の活動



大講堂にて講演する橋本専門家

8月27日～9月6日、橋本理生短期専門家(国立国際医療研究センター病院呼吸器内科医師)が来訪しました。

今年度2度目の来訪となる橋本専門家は、前回に引き続き、肺がん治療における多職種連携検討会(Tumor Board)や呼吸器ケアの標準化に向けた呼吸器サポートチーム(Respiratory Support Team)等の「多職種連携」について、日本の現状を紹介するとともに、チョーライ病院における導入にむけた支援に取り組みました。

橋本専門家は、これらの連携を料理に使う調味料に例え、素材のそれぞれの良さを活かすためには調味料(連携)が不可欠であると説明しました。

今後も多職種連携の定着に向けて活動を行う予定です。

※「多職種連携」について

多職種連携とは、「患者中心」の医療のために、部署や職種の異なる医療従事者が対等の立場でお互いの専門性を発揮し、連携していくことです。

異なった部門や職種で構成されるメンバーが、お互いの意見を尊重し、個々の患者の状態に合わせた質の高い医療の提供を検討します。

「Tumor Board」は、腫瘍治療が複雑で困難な症例に対して最善の治療を提供することを目的に行います。「Respiratory Support Team」は人工呼吸器を装着している患者に対して、院内ラウンドを実施し、安全な呼吸器ケアが提供されることを目的としています。

(医療安全・看護管理 森山 潤)



院内ラウンドで助言する橋本専門家(左)

今後の主な予定:

10月3日 プロジェクト合同調整委員会(JCC)開催

独立行政法人 国際協力機構(JICA)

チョーライ病院向け病院運営・管理能力向上支援プロジェクト

事務所: 10F, Block D, Cho Ray Hospital, 201B Nguyen Chi Thanh, District 5, Ho Chi Minh City, Viet Nam

Tel: 028 3620 5032 (直通) E-mail: chorayjica@gmail.com

ホームページができました→ <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/044/index.html>



(編集責任: 業務調整 松本 丞史)